

緊急開催 海外邦人安全対策連絡協議会（議事要旨）

2025 年 9 月 10 日（水）10:00-10:35

オンライン会議

緊急開催の趣旨：当地インドネシアでのデモ活動に端を発した治安情勢の不安等に関して、前回(9/1(月))開催後の状況変化と最新情報の共有を図る。

1 大使館からの報告等

（総括公使）

在留邦人や渡航予定者の皆様には、当館から頻繁に領事メールにて情報提供してきているとおり、ジャカルタ市内は落ち着きを取り戻している。他方、何かのきっかけで一旦火が付くと、デモの過激化するスピードも速く、烈度も高くなる恐れもある。1998 年の暴動の教訓含め、大使館としても内政状況を丁寧にフォローする必要性を再認識したところであり、今後とも、適時適切な情報提供を行っていく。

（政務部）インドネシア国内の状況について

デモ情勢は、落ち着いてきている傾向。学生団体等は、国会議員の手当の凍結や、国軍の治安維持からの撤退、デモ参加者の釈放や非犯罪化などを訴えた短期 17 項目＋長期 8 項目を政府・国会等に要求しており、短期要求への回答期限は 9/5（金）であったが、議会は住宅手当の停止など一部の対応を発表したところ。ただし、要求の多くは未対応のまま残っており、学生団体によるデモは本日も予定されているなど、今後も続くと思われる。他方、最近のデモは、事前に当局への届出がなされている比較的平穏なデモとなっている。

抗議活動の中で破壊された MRT の駅やトランスジャカルタの停留所も大方復旧し、日常が戻ったように思えるが、情勢次第によっては再び過激化する恐れもあるため、政府機関・議事堂・警察施設には、用事がない限りは近づかない、デモや人だかりに遭遇した場合はその場を離脱するなどの注意をお願いしたい。

また、ソーシャルメディアには、今回のデモに関連する様々な陰謀論も含め、真偽不明の様々な情報があふれている。ソーシャルメディアはリアルタイム性があり、緊急時の情報収集に有用というメリットもあるが、他方、多くの投稿内容はその真偽について検証がなされていないままに拡散されているものも多いため注意を要する。

（警備班）治安状況について

一連の抗議デモは、全国的に平穏に推移しており、9 月以降、ジャカルタでは目立った混乱は起きていない。ただし、地域によって状況は異なり、マカッサルや東ヌサトゥンガラ州などでは引き続きデモが発生している。

現在インドネシアで発出されているスポット情報には不要不急の外出を控える文言

が含まれているものの、現状であれば国内移動に関しても特段問題ないものとみているが、現地の最新情報を事前に収集していただきたい。

なお、ジャカルタでは本日も 10 時頃から、大使館前近くのタムリン通りで 500 人規模の労働団体による抗議デモが予定されている。近くを通行の際には注意されたい。

なお、大使館からは領事メールの他、JJC の HP に、毎朝、当館からのデモ情報を掲載していただいている。これらの情報をご確認いただき、デモ実施場所には近づかないなど、引き続きご注意ください。

（領事部）スポット情報の今後の扱いについて

外務省海外安全ホームページのインドネシア部分に、8/31 日付でスポット情報「インドネシアにおける抗議デモに関する注意喚起」が掲示されている。このスポット情報については、今後国内状況等を総合的に判断して削除することを検討する。ただし、その時には、明示的な削除のメール通知等がされることはないので、このスポット情報の内容に対しては、その後大使館・総領事館等から発信されている安全情報メールが最新の情報であると理解をお願いします。当館の発信した最新の安全情報メールのポイントは次のとおり。

- 現在のところ、8 月下旬以降継続している一連の抗議デモは全国的に平穏に推移していますが、引き続き、政府庁舎、国会・地方議会、警察施設等の周辺には近づかないよう、ご注意ください。
- デモは突発的に過激化する恐れがあるため、人だかりや抗議活動に遭遇した際には、速やかにその場を離れるなど、安全確保に努めてください。
- 9 月以降、ジャカルタにおける一連の抗議活動は落ち着きつつありますが、他の地域では状況が異なる場合もあります。国内移動を含め、外出を予定されている方は、事前に現地の治安情勢等について把握するよう努めてください。

なお、各地方においては、それぞれ管轄の各総領事館等から、それぞれの地域に応じた内容の注意喚起のメールを発出しているため、今後の国内出張等にあっては、それら各公館からの情報を参照ありたい。

また、インドネシア全土には普段から危険情報レベル 1 が発出されている。その内容は次のとおりであり、最近の当館からの安全情報メールの内容と概ね一致しているので申し添える。

- 首都ジャカルタを始めとする各地において、政治、宗教、人種、労働・社会問題等に起因する大小様々な抗議デモ等が発生しています。場合によっては、暴動に発展する可能性もありますので、十分注意してください。

2 出席者からのコメント、各社・団体からの報告等

■企業

本日カラワンでは警察署前、ブカシでは市庁舎前でのデモが予定されている。工業団地内でも2～3のデモが予定されているが、多くは昼過ぎから人が集まり始め、夕方遅くまで実施される見込み。抗議内容は、解雇や廃材に関するものであり、遭遇した場合は、迂回等を検討していただきたい。

■ JICA

現状、国軍と警察が合同でパトロールを行っているため、状況が落ち着いているという見方もある。しかし、学生団体等からの17+8項目の要求の1つに、国軍の治安維持活動からの撤収という項目があるが、撤収見込みはあるか。また、各地で自警団が結成されているという情報を目にするが、それらは治安状況にどう影響するか。

(大使館 政務部)

国軍撤収のタイミングは現時点では不明。なお、当地の国軍は、国内の治安維持の権限や司法警察権も付与されているほか、今回の騒動でも路上の片付けに動員されるなど、我々がイメージする軍隊に比して動員のハードルは低いと思われる。また、自警団については、今回の騒動において各地で議員宅等への略奪行為が発生したこと等を受け、自己防衛的に発生したものと理解。いずれにせよ、不要不急の場所や群衆には近づかないということが大切。

■ ジャカルタ日本人学校（欠席）

(大使館 領事部) 学校からは、先週は一時的にオンライン授業等としたものの、今週から通常登校に戻ったとの報告を受けている。また、昨日(9/9)からバリ島への修学旅行を実施していると承知。

■ チカラン日本人学校

当校は明日(9/11)からの2日間でバンドンへの修学旅行を計画している。これまでの情報収集や旅行会社等とも相談し、予定どおり実施する予定。なお、何か危険情報があれば速やかに回避する体制を整えている。

■ バンドン日本人学校

当校は当地のデモ発生地から距離もあり、登下校も保護者の送迎であることから、本日まで休校やオンライン授業は実施していない。なお、被害報はなく、登下校状況も平静である。また、インドネシア国内に所在する日本人学校4校の間で連携し、校長間で治安状況等の情報交換を行っている。

当校も9/17～19の間でジャカルタへの修学旅行を実施予定。なお、情報には注意し、例えば前日であっても危険な情報が入れば回避していく予定。

3 一連の抗議デモ関連以外の情報

(大使館 領事部) バリでの洪水被害

現在、バリのデンパサール市において、昨日来の雨により洪水被害が発生しており、一部ホテルでは浸水して宿泊客がホテル内で垂直避難を余儀なくされているという情報がある。なお、現地で修学旅行中であるジャカルタ日本人学校生徒の安否確認はとれている。これから出張等が予定されている方にあつては、在デンパサール総領事館からの情報等、最新情報を確認されたい。

4 次回の開催予定等

次回は、10／14（火）の開催を予定している。

以上